

06.04.20 一新塾名古屋講義

日時：2006年4月20日 19:00-21:30

場所：NPOセンター12階 小会議室

参加：加部、水野、桐谷、百田、近藤（記）

内容：以下参照

講義 市民革命の系譜と道徳・倫理 講師 加部隆史氏 NPO安全工学研究所

1) 法体系の変遷

古代ギリシャの哲学者プラトンに始まる人として誰もが持ち合わせているべき正義、善からホッブス、ロック、ルソーの17、18世紀のイギリス革命、フランス革命、アメリカ独立戦争という痛みを伴う改革より自由、平等が重要視され、やがてその考えがマルクス、ビスマルクの19、20世紀の経済に重点が移り、社会主義、社会福祉へと時代の変遷にあわせ法体系も時代とともに変化を遂げてきているが、日本の法体系は欧米諸国の猿まねに過ぎず常に法律は権力者の手に委ねられてきた。市民の行動が引き金の欧米とは大きく異なる。

2) 法のピラミッド構造

法の構造は法律、憲法、社会規範の三層構造であり、日本は取り締まる為の法律に重きを置いているが、本来、人には道徳や倫理といった社会規範があり、これらは人が人として互いを尊重し、協力しながら生きていく上で自然に存在するものである。現在のテレビ報道など連日、日本で道徳、倫理の欠如による弊害事件が後を立たないが、これらは日本人に道徳倫理の原理原則がない証拠でもある。

講義 コーチング 講師 水野誠氏 瀬戸市役所

1) コーチングとは

人材（リソース）を使って組織を維持拡大するのではなく、人の成長力が新たな価値を生みだし（キャピタル）その人の自己実現を図る。

2) コーチングの基本

①相手を信じる

プラス指向で対応すればプラス指向で動き始める。

②相手を認める（見+とめる）

コミュニケーションの意味

③相手に任せる

人間性を信じて信頼することが相手のやる気と成長力を高める。

3) コーチング語録

やって見せ 言って聞かせて させてみて 褒めてやらねば人は動かじ（山本五十六）
任せて任せず（松下幸之助）

4) ソリューションフォーカスの紹介

水野家の具体的事例を説明。

なぜうまくいっていないかを説明するのではなく、どうすればほしいものが手に入るかを説明する

5) 本間氏の説明よりコーチングの基本的考えを学ぶ（ビデオ説明）